



みんなが主役のまちづくり

みんなで支え合う優しいまち磐田

Vol. 68

松野まさひろ市議会レポート

2022年1月20日 第68号 発行：松野まさひろ後援会 〒438-0025 磐田市新貝 2500 TEL0538-37-4561 発行者：久保順裕

活力ある地域・若者の夢

日本社会は今、少子高齢化の進展、豪雨災害の頻発、予測される地震・津波などに加え、コロナ禍も、出口が見通せないなど、不安材料が山積しています。

しかし、先祖や諸先輩の方々が様々な困難を乗り越え、現在の豊かな社会を築かれたと同様、私たちも、知恵を集め協力し合い、活力ある地域を維持・発展していくことが求められていると思います。

昨年は、東京オリンピックの卓球混合ダブルスで、水谷隼・伊藤美誠選手が見事金メダル、ジュビロ磐田がJ1昇格・J2優勝と、素晴らしいニュースが続き、地域ブランド調査2021による「スポーツのまち」市町村ランキングでは、はじめて全国1位になりました。

この様に磐田には、温暖な気候、深い文化と歴史、ものづくりの風土、に加えスポーツに取り組み活力があります。

こうした資源を活かし、人材育成に力を注ぎ、若者が夢を持ち挑戦できる地域づくりに努力したいと思います。

本年も、どうぞ宜しくお願いします。

磐田市議会議員

松野正比呂

まっちゃんの七転び八起き …日常活動のあれこれを紹介します…

…地域づくりは人づくり…

自治会連合会主催：川北秀人氏の講演を議会の総務委員会で聴講しました。



地域づくりを熱く語る「川北秀人氏」

…秋晴れの空の下で…

11/13(土)富士見町のグランドゴルフ大会が開催されました。



コロナ禍による中断が長かったためか、会話に花が咲き楽しい午後のひと時となりました。

…健康づくりでストレス発散…

コロナ禍が少し落ち着いた11/7(日)、見付観光駐車場を拠点に開催された静岡県リクリエーション協会主催のウォークラリーのお手伝いをしました。



12/12(日)には、磐田労福協のウォーキング大会に参加、久しぶりに市内散策ができました。

…労組の顧問として…

組合の定期大会で、引き続きヤマハ発労働組合・ヤマハ労連の顧問として選任されました。



ヤマハグループはもちろん、地域で働く皆様の代弁者として、勤労者政策を推進します。

…ものづくりのまち…

11/12 規模を縮小して開催された第11回「産業振興フェア」。ウェブを使ったパネルディスカッションなども組み込まれ、新時代に相応しいイベントでした。



産業振興フェアのようす

…完成間近の新磐田市民文化会館「かたいあ」…

令和4年夏のオープンを目指し、工事が急ピッチで進められています。周辺施設も含めた文化の拠点としての活用が期待されます。



皆様のご意見をお待ちしております …みんなが主役のまちづくり…

後援会事務所 〒438-0025 磐田市新貝 2500

連絡先TEL 事務所：37-4561

E-mail matsuno-genki@nifty.com

自宅：24-8189

活動報告
をお届け
致します

松野まさひろ
公式LINE



会派「新磐田」の政策提言

(11月定例会の代表質問から抜粋)

12月3日(金)市民の皆様からの意見要望と会派の調査研究を踏まえて市長に提言した政策から、27項目を代表質問として取り上げ、会派代表の芥川議員が、市長の考えを質しました。

【まちづくりへの住民参加】

Q. 市民との情報共有・まちづくりへの住民参加についての見解は?

A. 「磐田の未来を語る会」などを開催して、市民との意見交換を行っている。



自治会連合会主催の磐田の市政について語る会

市長の政治姿勢としてさらに対話機会を拡大、市民への情報提供、市民参加を促進する。

【多様化する時代の行政活動】

Q. 多様化時代の課題把握の方法、相談窓口のあり方、人材育成などへの取り組みを伺う。

A. 現行の女性相談・外国人相談などの窓口機能を充実するとともに、研修により職員の能力を高めたい。またNPO等との連携を強化する。

【福祉的支援の見える化】



Q. 行政サービスをより分かりやすくするため、年代毎にマップ化するなどの工夫が出来ないか?

A. 安心感を市民に届けたいと考え、受けられる支援制度が、年齢毎に分かるような資料の作成を福祉部門に指示した。まずは作成し各方面の意見を踏まえ改良していきたい。

ニューストピックス

…J1昇格決めた…

待ちに待ったジュビロ磐田のJ1昇格が決定。水戸ホーリーホック戦のパブリック



ビューイングには、多くのサポーターが詰めかけ、熱い声援を送りました。(11/14)

…オリンピック金メダルおめでとう!…(12/26)



東京オリンピック卓球混合ダブルスで金メダルを獲得した水谷隼・伊藤美誠選手が、凱旋報告。

【産業の活性化】

Q. 起業応援の進め方、首都圏に設置を予定する拠点の活用について具体的な説明を求める。

A. コワーキングスペースを活用した創業支援、環境づくりに加え、首都圏の企業と情報交換や連携できるよう、コーディネーターを配置した拠点を設ける考えである。



ワークピア磐田にあるコワーキングスペース

【広域行政】

Q. 効率化や住民の利便性向上のための広域行政についての考えは?

A. 産業や観光の活性化を遠州の8市1町で、取り組み始めた。

民間との連携も含め、今後も試行錯誤しながら進めたい。



磐田の経済状況は?

▶磐田市産業部の「がんばる企業応援団」による製造業を中心とした調査では「業況は持ちなおしている」状況にある。

▶しかし、業種による業況の格差は大きく、今後も市内事業者の実態を注視、必要に応じたタイムリーな支援が必要である。



- ◇ 旧磐田市民文化会館等の解体撤去 (入札の結果、解体撤去工事の請負契約を(株)カイテックと締結 : 約3億4700万円)
- ◇ 国民健康保険税の税率変更 (事業の健全運営のため、一人当たり平均約3500円増額)

【コロナ対策以外の主な議案】

- ◇ 海岸防潮堤・今後の整備計画 (福田工区およびスズキテストコース前の令和7年度までの工事予算約59億円を予定)
- ◇ コロナワクチン3回目接種 (2月以降、高齢者から順次接種開始予定。)
- ◇ コロナ対策・経済対策
 - ◇ 子育て世帯への臨時特別給付金の10万円一括支給を決定 (対象者: 約2万8000人)

十一月定例会 (11/26~12/23) で決定した主な政策・事業